

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	地域との関係性を深めることの重要性は、理解しているが、グループホームの役割を発揮出来ていない。	運営推進会議に、地域の様々な人に参加して頂いて、ホームへの興味を持ってもらう。 地域の方に認知症について、理解を深めて頂く。	民生委員さん、自治会長さん等に、住民の方を紹介してもらい、運営推進会議の参加者の枠を広げる。 地域に出て、勉強会を開催する。	12 か月	
2	4	運営推進会議について、ご家族からのホームへの要望が少ない。	興味を持って頂ける、運営推進会議の開催。	運営推進会議の議事録や勉強会の資料を家族様へ送付し、興味を持って頂く。 会議スタイルではなく、気軽に参加出来るようにイベントを併せた開催も試みる。	6 か月	
3	35	夜間を想定した避難訓練を実施したことがない。 又、行方不明者の搜索マニュアルを作成しているが、それに基づいた訓練を実施していない。	夜間想定避難訓練、マニュアルに沿った、搜索の訓練を行う。	夜勤者一人での(各ユニット)避難を実際に行い、消防署の方の指導を受ける。 搜索マニュアル手順に沿って、模擬訓練を行い、問題があった時は改善する。	2 か月	11月27日に消防署の指導の下、消火、非難訓練を実施した。また、行方不明者の搜索模擬訓練も実施した。課題は、半年後の訓練に向けて、改善する。(近隣の方の参加)
4					か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】				
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)		
1	サービス評価の事前準備	○	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った	
		○	利用者へサービス評価について説明した	
		○	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした	
		○	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した	
			その他()	
2	自己評価の実施	○	自己評価を職員全員が実施した	
		○	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った	
		○	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った	
		○	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った	
			その他()	
3	外部評価(訪問調査当日)	○	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった	
			評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた	
		○	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た	
			その他()	
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	○	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った	
		○	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った	
			評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った	
		○	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った	
			その他()	
5	サービス評価の活用	○	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した	
			「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)	
			「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)	
		○	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)	
			その他()	